

## 研究方法 B-I (質的研究方法の基礎)

更新日：2021/03/03 15:34:30

開講年度	2021	学期	後期	シラバスコード	88080		
学年	1	曜日/時限		単位数	1.0	科目コード	880800
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

## 授業の目的

質的研究手法を用いるための基礎知識として、質的データの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、文献や模擬データによる演習によって学ぶ。

## 到達目標

1	データ収集方法について、演習によりデータ収集を体験し、質的データの意味について理解することができる。
2	データの分析方法について、演習によりコード化などを体験し、データをまとめていく分析の意味について理解することができる。
3	質的研究におけるデータ分析と分析後の解釈のつながりを検討することができる。

## DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

## 授業計画

1	質的研究の特徴 【授業内容】研究方法（研究方法総論）で学習した質的研究の特徴について復習、模擬データ収集のためのリサーチクエスチョン検討、インタビューガイドの作成 【授業方法】講義、演習 【担当】倉岡
2	質的データとは（1） 【授業内容】質的データ収集演習（1）インタビュー演習 【授業方法】演習 【担当】倉岡
3	質的データとは（2） 【授業内容】質的データ収集演習（2）逐語録の作成 【授業方法】演習 【担当】倉岡
4	データの分析方法（1） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
5	データの分析方法（2） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
6	データの分析方法（3） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
7	質的研究におけるデータ分析後の解釈（1） 【授業内容】分析結果の全体発表① 【授業方法】発表と討議 【担当】倉岡
8	質的研究におけるデータ分析後の解釈（2） 【授業内容】分析結果の全体発表② 【授業方法】発表と討議 【担当】倉岡

## 学習方法

研究方法（研究方法総論）で学んだ質的研究法の基礎知識を元に、質的記述の研究でのデータの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、主に模擬データによる演習により体験しながら学ぶ。各回に提示する演習課題に取り組んでください。

## オフィスアワー

月曜日の昼休み、もしくはメール ([y-kuraoka@jrckicn.ac.jp](mailto:y-kuraoka@jrckicn.ac.jp)) にてアポイントをとってください。

## テキスト

---

萱間真美：質的研究実践ノート．東京，医学書院，2007．

#### 参考文献

- ・グレッジ美鈴，麻原きよみ，横山美江：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして 第2版．医歯薬出版，2016．
- ・ Immy Holloway, Stephanie Wheeler：Qualitative Research in Nursing (2nd) ．2002, 野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門．東京，医学書院，2006．
- ・ Margarete Sandelowski:10 Key Questions Over Qualitative Research. 2013, 谷津裕子・江藤裕之訳：質的研究をめぐる 10 のキークエスチョン．東京，医学書院，2013．
- ・ 佐藤郁哉：質的データ分析法 原理・方法・実践．東京，新曜社，2008．
- ・ 松葉祥一・西村ユミ編集：現象学的看護研究— 理論と分析の実際．東京，医学書院，2014．
- ・ 川喜田二郎：発想法．東京，中公新書，1967．
- ・ 山浦晴男：質的統合法入門 考え方と手順．東京，医学書院，2012．

#### 評価方法

---

演習課題 (50%) レポート (50%)